

## 2023\_0720「雨の中の雛（動画）」日々の理科 3270号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

自然は野生動物に対して常に恵みを与えています。空気の温かさ、水、食べ物、安心して子育てができる森などです。一方で自然は常に無情でもあります。今回のシジュウカラの巣立ちでも、いくつかの場面でそのことを感じました。

巣立ちの日は天気がよかったのですが、翌朝は雨になりました。この季節としては冷たい「無情の雨」でした。巣箱にもどって「雨宿り」すれば良さそうですが、一度巣立った雛は、いかなることが起きようとも、決して巣箱には戻ることはありません。この朝も、冷たい雨の中で小さな雛が、クリの木の枝にとまって、親鳥を呼び続けていました。幸い何度か鳴き交わしたあと、親鳥の近くまで登り、給餌を受けることができました。

(2023年7月中旬／北軽井沢)

